



IMS Japan Society

1EdTech開発ツール利用のための説明会 OneRoster編

2022/12/27

一般社団法人日本IMS協会

藤原 茂雄

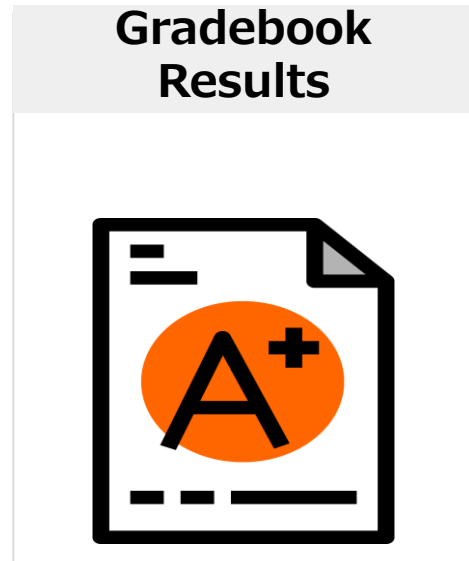
1. OneRoster v.1.2 概要
2. OneRoster / OneRoster Japan Profile / 学習eポータル標準仕様
3. OneRosterの開発ツール
4. 質疑応答

OneRoster v.1.2 概要

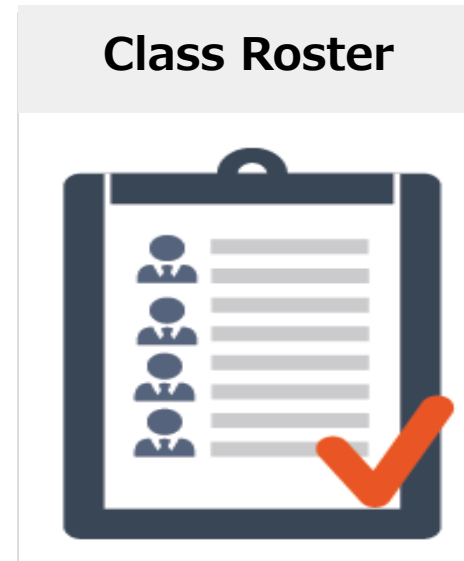
2022/12/27

1EDTECH開発ツール利用のための説明会

「Roster」は名簿。主に初等中等教育において、クラス名簿や、成績、教材の相互運用を可能にするための技術標準。主には、SIS (School Information System ≡ 校務・教務システム) とLMS間のデータ交換に用いられる。



成績情報

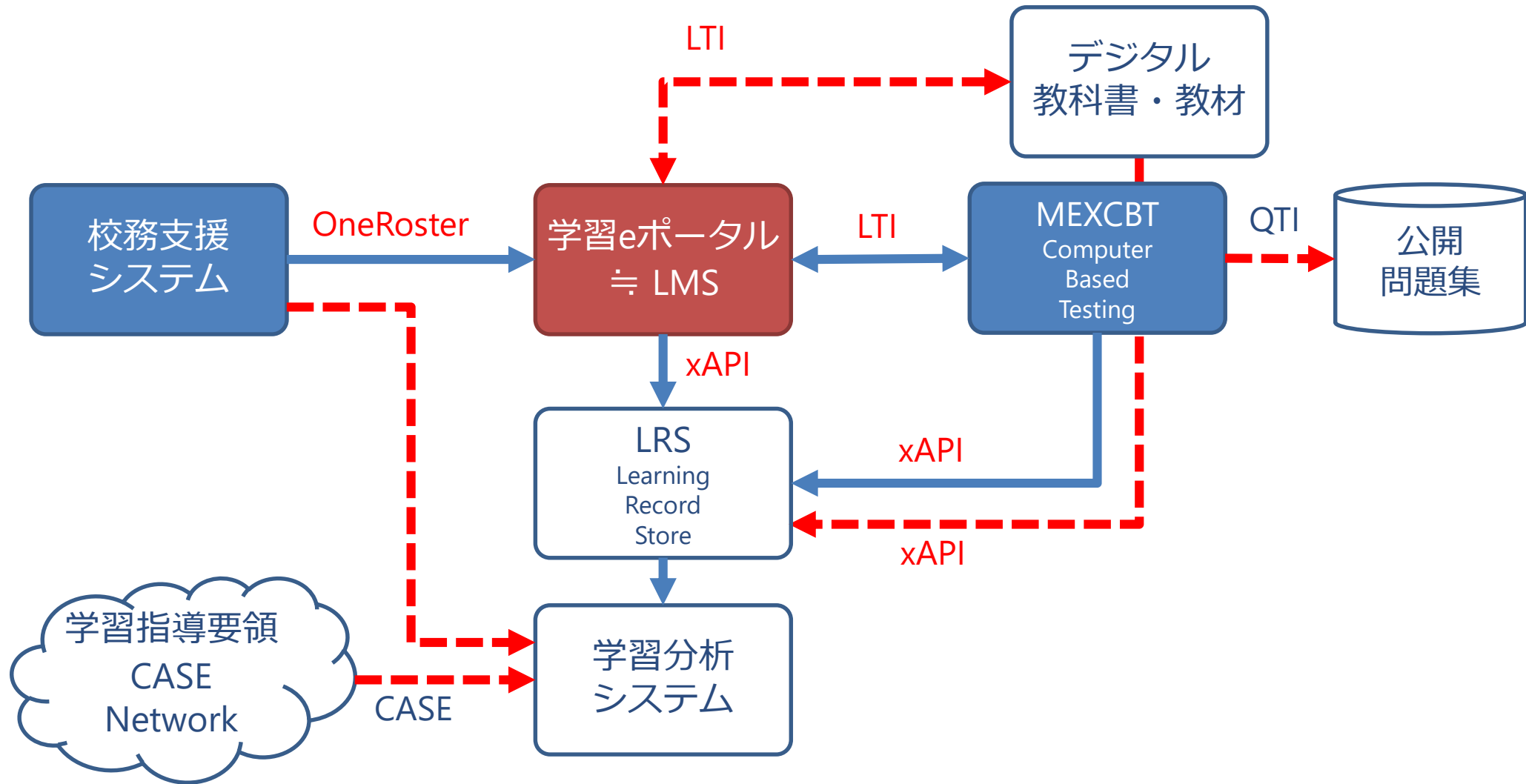


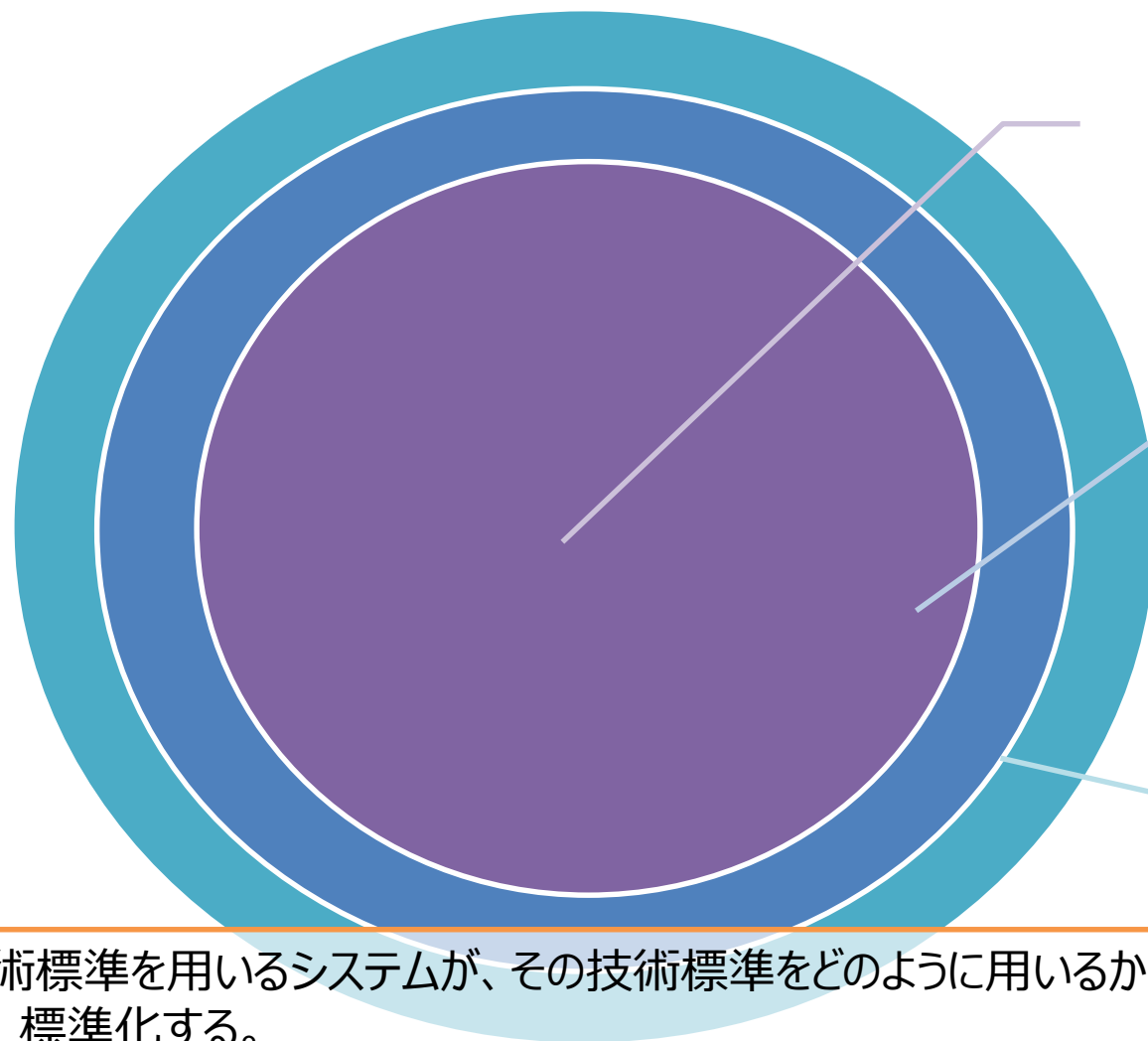
クラス名簿



教材情報

日本における OneRoster / LTI の適用例





(グローバルな技術標準)
LTI, OneRoster, xAPI

※ 世界的に利用されている技術標準

(グローバルに示す、日本における追加仕様)
OneRoster Japan Profile

※ 国際標準を日本国内で利用するための追加仕様

(日本国内の追加仕様、運用など)
学習eポータル標準仕様

※ 学習eポータルと、学習eポータルとの接続に用いる標準仕様

ある技術標準を用いるシステムが、その技術標準をどのように用いるかを定め、標準化する。

- OneRosterを日本国内で利用する際の、OneRosterの技術標準を補足する取りまとめ
 - 例) ふりがな、いわゆる「外字」の取り扱い
 - 英語で定義されているデータモデルの日本語訳（解釈）
- Japan Profileの記載の例
 - 学年、教科の定義には、APPLICの学校コード、教科コードを使用する。
 - ふりがな、在籍クラスを取り扱うデータ項目を追加する。
 - 学校の識別には文部科学省の学校コードを用いる。学校名に文部科学省学校コードに記載されている名称を用いることを推奨する。
 - 氏名には通称を用いることを推奨する。
 - UserMasterIdentifier を、将来の統一的なIDに予約する
- 日本IMS協会のWebページにて最新を公開
 - <https://www.imsjapan.org/post/oneroster-japan-profile>

CSVフォーマットについて

- OneRoster v.1.2
 - <https://www.imsglobal.org/spec/oneroster/v1p2/bind/csv/#csv-format>
 - カンマ区切りを用いる
 - UTF-8を用いる（BOM付きを許容する）
 - ヘッダー行は必須
 - ヘッダーの順序は仕様で定義されている順序に従う
 - データを含まないファイルは許可されない
 - NULL、空白値（""）は、データがないことを表現するのに用いる
 - データは255文字をサポートすることを必須とする
 - データの参照にはsourcedIdを用いる
- Japan Profileでの取り決め
 - 取り扱う日本語文字集合の範囲：JIS X 0213
 - 文字コード：ISO/IEC 10646
 - 文字の符号化形式：UTF-8（BOMなし）

一括（バルク）データの扱いについて

- OneRoster v.1.2
 - <https://www.imsglobal.org/spec/oneroster/v1p2/bind/csv/#csv-format>
 - バルクデータを取り込む（インポートする）システムでは、インポートするデータを「正」として扱う
 - 以前にあったデータがインポートしたデータになかった場合 -> 削除対象とする
 - 以前になかったデータがインポートしたデータに含まれる場合 -> 新規登録対象とする

1 EdTech開発ツール

2022/12/27

1EDTECH開発ツール利用のための説明会

1EdTech Consortiumの開発ツールの活用

- ドキュメント
 - <https://www.imsglobal.org/spec/oneroster/v1p2/cert/>
 - <https://www.imsglobal.org/oneroster-conformance-testing>
- 校務システム（データ送信側）
 - CSV Validator
 - <https://onerostervalidator.imsglobal.org:8443/oneroster-server-cts-webapp/instructions>
- 学習管理システム・学習ツール（データ受信側）
 - CSV Reference Test Set

1EdTech 開発ツールの利用しどころ

- 自製品が「OneRosterを正しく実装できているか」を確認する検証ツールとして利用する。
- OneRoster Japan Profileでの追加制約はテストされない
 - 「ふりがな」などのカスタムパラメータ
 - 「Role」等、パラメータに対する制約
 - 受信側は、Japan Profileでは使用しないパラメータも取り込む（エラーにしない） 処理が必要
- 実際に使用しない項目を取り込む必要はない。
 - 正しく記述されているものをエラーにしてはいけない（受信側）



IMS GLOBAL
Learning Consortium
Better Learning From Better Learning Technology

Instructions

Consumer Information / Run Tests

CSV ZIP File Validation

1

UPLOAD FILE

2

CONFORMANCE CHECKING

3

SUBMIT

Start Over

Upload the set of CSV files you wish to check for IMS conformance Certification individually or as a zip package. The validator will unzip the package, if necessary and ensure that the zip file is properly formed and includes the correct manifest file. The test suite will process all of your files checking for any errors. You will be notified of any errors as you move through the process. If you pass all of the tests, you will be prompted to submit your details to IMS for review and conformance certification.

*Your Data Files will **not** be saved to IMS Servers.*



Drag and drop to upload your files, or click this box to browse for files.
1 ZIP file containing csv files for OneRoster v1.1 or OneRoster v1.2 or 7 separate csv files for OneRoster v1.0 are required to continue.

Submit the log of files and fill out [this document](#) and submit to conformance@imglobal.org when complete.



Name

Last Name

Email

Organization

Product Name

Product Version

Get results via Email

Run Conformance Checks

CSV Validator ポイント

- 検証したい機能のみを実施する
 - Rostering Bulk
- CSVのヘッダは、CSVフォーマットの定義通りの順序に並んでいる必要がある
(ヘッダの省略や、項目の省略は不可)
- ダブルコーテーション (") の入力にはエスケープが必要。
 - Ex) ""テスト""
- 日付 (date) の記載は厳密に記載する必要がある。(タイムゾーンの省略は不可)
 - Ex) "2012-04-23T18:25:43.511Z"
- パラメータはCase Sensitiveであり、仕様通りに記載しなければならない。
 - Ex) true / false
- その他、不明点はお問い合わせください。

CSV Reference Test Set ポイント

- 取り込む（または無視する）べきデータと、エラー処理するべきデータのサンプルとして使用する。
- 実装（検証）するテストセットのみを実施する。
 - <https://www.imsglobal.org/spec/oneroster/v1p2/cert/#rostering-certification-csv-file-set>
- ValidとInvalidのテストセットがある
 - Validのテストデータをエラー処理しない。-> 実際に取り込まないものは無視する（ログ出力は可
 - Invalidのテストデータは、必ずエラーにする。-> 理由を添えてエラーを出力する。
- その他、不明点はお問い合わせください。
 - （テストセットに不備がある可能性もあります）

質疑応答

2022/12/27

1EDTECH開発ツール利用のための説明会